

日本点字事情 かわら版

横浜市立盲学校

点字研究部

1998年12月2日発行 NO.8

文責 道村静江

前号で、2002年から改訂されるであろう点字科学記号の暫定改訂案の概要を載せてから、約1ヶ月が経ってしまいました。この改定内容に関するご意見などを収集しようとしていたのですが、思うように集まらなくて、今号の発行を見送っていました。

そうこうしているうちに、日点委から正式な文書が届いてしまいました。それは今回の暫定改定案に対して、広く意見・感想を求めるものです。来年度5月の総会において正式決定し、教科書編集作業に入る予定ですので、もう一度意見を求められているのです。期限は12月15日です。

今度こそ、意見があれば事前にしっかりと伝えましょう。数学・理科担当の先生、そして全盲の先生、ご意見をよろしくお願いします。

前号では、いきなり改定内容に入ってしまったので、どのように導入されるのか、暫定修正が必要とされる部分についての問題点などを、もう一度整理してみましよう。

15. 暫定修正案の基本的な考え方

1. 小学校の算数や理科の分野における点字記号については、原則として現行通りとする。例えば、数字・小数点・四則演算子・等号・小カッコ等は変更しない。ただし、複雑な分数式や中カッコ等は、教育上必要な場合は新しい記号を用いてもよい。

2. 中学校や高等学校段階で使用する点字数学記号・点字理科記号のうち、緊急に改善を必要とするものに限って暫定的に改訂する。2002年以後に予定されている新教育課程に基づく点字教科書やその学習参考書及び新教育課程を修了した後の入学試験等を、使用範囲として想定している。なお、数学や理科以外の教科における使用については、関係機関で検討することを想定している。

3. プログラミング言語等を記述する情報処理用の点字体系については、今回変更を加えない。

